

# 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 合同部活動の推進に向けた実証事業 成果報告書（概要）

## 岡山県総社市

### ●地域における現状・課題

- ・市長、教育長など市の幹部が中学生から直接意見を聞く場を設けた際に、学校部活動の種目が継続できるのか疑問視する意見があった。
- ・中山間部に小規模校が2校あり、生徒数の減少により、各部の人数が少なくなり、持続できない種目が出ることが予想される。
- ・小規模校2校による合同部活動を検討しているが移動手段やその費用、少子高齢化が進んでいる地域内での指導者確保に課題がある。

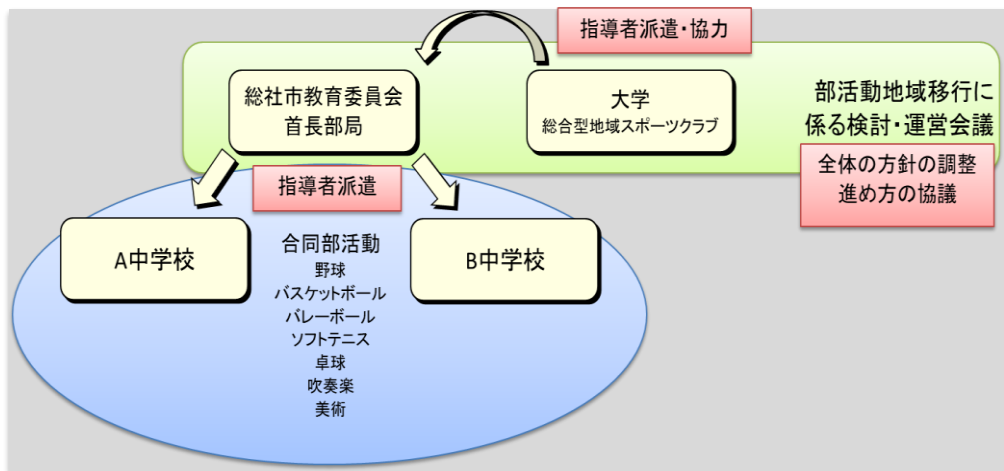
### ●取組事項の概要

- ・団体競技の種目において合同部活動を実施することで活動人数の確保
- ・休日の活動場所への移動について貸切バスを利用（市が費用負担）
- ・指導者の確保、派遣
- ・指導者確保に向けて、指導者養成研修を実施

### ●取組の成果、特に工夫した点等

- ・2校に設置されている運動部5種目のうち、すべての種目で合同部活動が実施できた。そのうち2種目について、年間目標実施回数20回を上回った。
- ・参加した中学生127人を対象としたアンケートの結果、回答者の74%が肯定的な回答であった。
- ・バス利用の確認について、Googleフォームを活用したりすることで合同部活動開始による教員への負担感の軽減を図った。
- ・地域指導者の委嘱、合同部活動の開始など、市の広報誌や新聞等のメディアにより積極的に情報発信することで地域移行に向けての取組の周知を図った。

### ●運営体制図



### ●合同部活動の概要（代表例）

- (1) 運営類型：市区町村運営型
- (2) 運営主体：各中学校
- (3) 種目：バスケットボール
- (4) 指導者の主な属性：地域部活動指導員
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：3～4回
- (6) 主な活動場所：昭和中学校体育館
- (7) 主な移動手段：貸切バス（市が費用負担）
- (6) 1人あたりの参加会費（年額）：徴収していない
- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1,850円

# 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 合同部活動の推進に向けた実証事業 成果報告書（概要）

## 岡山県高梁市

### ●地域における現状・課題

合同チームを結成する際には、大会参加条件に満たない部員数の学校同士の組み合わせになることが多く、年度や大会ごとに学校の組み合わせが変わる場合がある。生徒にとってこのような状況は継続的な活動ができにくく、大会ごとにどの学校とのチーム編成になるのかという不安を生じさせている。また、合同チームを結成した場合にも、学校間が離れているため、日々の活動を合同で行うことは難しい。

### ●取組事項の概要

高梁市立高梁中学校・高梁東中学校・高梁北中学校・有漢中学校・成羽中学校・川上中学校の全6中学校を対象にして、合同部活動を行う。実施競技は野球部で行った。

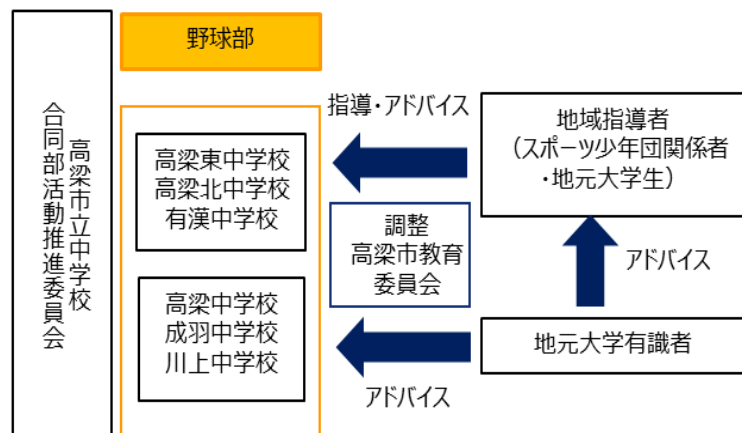
野球部について、地元大学生とスポーツ少年団指導者を地域指導者とし、①高梁中・成羽中・川上中での合同部活動、②高梁東中・高梁北中・有漢中での合同部活動とする。

### ●取組の成果、特に工夫した点等

合同部活動を行う際の生徒移動手段について、保護者送迎を基本にしていたが、長期休業中の平日の練習時等には保護者送迎が難しいこともあった。そこで、市のマイクロバスを利用して活動を行った。

また、その他の種目では、サッカー部は本事業に取り組む前から、スポーツ少年団F Cと連携し、F C指導者が休日の練習を中心に指導に入っている体制が整っている。このケースを高梁市の一つのモデルケースとして、他の競技の地域移行の参考にしていきたい。

### ●運営体制図



### ●合同部活動の概要

- (1) 運営類型：合同部活動
- (2) 運営主体：高梁市教育委員会
- (3) 種目：野球部
- (4) 指導者の主な属性：大学生（硬式野球部）
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：2回
- (6) 主な活動場所：ききょう緑地グラウンド、うかんスポーツパーク等
- (7) 主な移動手段：保護者送迎